

第57回NHK杯全国高校放送コンテスト山梨県大会実施要項

主催 山梨県高等学校教育研究会教育情報・視聴覚部会 山梨県高等学校文化連盟放送部門部会 NHK甲府放送局
後援 山梨県教育委員会

日時 平成22年 6月12日(土)

8:45 開場・会場設営・受付(～9:15)
8:55 審査員・運営員打合せ(※番組部門は和戸館会場にて行います。)
9:20 開会行事(あいさつ・注意事項等)・アナウンス・朗読部門第一次予選
..... 番組各部門決勝(※和戸館会場にて開会行事と並行して開始します。)
12:40 アナウンス・朗読部門 決勝進出者発表(各10名程度)
13:10 アナウンス・朗読部門 決勝(点呼終了後開始)
15:50 閉会式 講評 表彰(終了次第、全国大会出場校手続き)
..... ※各校顧問・生徒のみなさん、別館(多目的ホール)の会場設営にご協力ください。

場所 山梨県立青少年センター<本館・別館・和戸館>(甲府市川田町517) 電話 055-237-5311
※番組部門の各作品責任者は全員、9:00に番組会場(和戸館)に集合して下さい。

審査員 各部門とも、NHK1 高教情視2 計3名

実施部門(エントリー数) (*詳細は「校内放送研究 NO,151 2010,3」を参照。熟読してください。)

- 1 アナウンス部門: 3名 1分10秒～1分30秒以内。自校の校内放送に使用する内容とし、原稿は生徒が自作したものに限り、他のコンクールに参加した作品の手直しなどでの出場は認めない。決勝は、別に課題あり。
 - ・一次予選-----個人の原稿のみをアナウンスする。
 - ・決勝-----当日与えられる課題ニュースのみをアナウンスする。*入賞者の決定は、一次予選及び決勝の得点を合算して行う。
(10名程度が決勝へ進出し、うち6名が全国大会へ出場する)
- 2 朗読部門: 3名 指定作品(「校内放送研究」参照)より1つ選び、1分30秒～2分以内で朗読する。
決勝は、別に課題あり。
 - ・一次予選 -----指定された作品を朗読する。
 - ・決勝 -----当日与えられる課題のみを朗読する。*入賞者の決定方法及び、全国大会の出場人数は、アナウンスと同じ。
- 3 番組部門: ①ラジドキュメント・1本 -----高校生活や地域社会とのかかわりの中に広く素材を求め、ラジオの特性を生かして制作された、高校生としての視点を大切に、独創的な作品であること。
 - ・6分30秒～7分以内。CD-Rに、CD-DA形式(音楽CD形式と同じ)で録音する。
 - ・ドルビー等使用不可。
 - ・最後に「制作は〇〇高等学校放送部(委員会等)でした。」というクレジットコールを入れる。
 - ・計時は、最初の音から、クレジットコールの終り「制作は〇〇でした。」までとする。②テレビドキュメント・1本 ----- ラジオと同じ。
 - ・7分30秒～8分以内。
 - 作品は、DVD-RにDVD-VIDEO形式(NTSC規格、アスペクト比4:3)で作成する。
 - ・番組の前後に、5秒ずつ(様式3)のテストパターンを録画する。この際、テストパターンを改変してはいけない。テレビ放送番組等の再録を主体としたものは認めない。
 - ・作品の最後に「制作:〇〇高等学校放送部(委員会等)」というクレジットタイトルを入れる。
 - ・計時は初めのテストパターンの終了時から、終わりのテストパターンの始まりまでとする。*ラジオ・テレビとも4作品以内が全国大会に出場する。
- ③創作ラジドラマ・1本
- ④創作テレビドラマ・1本
 - ・ともに時間は8分以内。出演者は自校生徒に限る。
 - ・脚本は参加資格を有する自校生徒のオリジナル作品であること。文芸作品などからの脚色や改作は認めない。
 - ・その他の規定は、それぞれのドキュメント部門の注意に従うこと。*ラジオ・テレビとも2作品以内が全国大会に出場する。

※ 校内放送研究発表: コンテスト形式ではなく発表会で、2校まで全国に参加できる。

備 考

1. どの部門も、応募にあたっては必ず「校内放送研究 No, 1 5 1」を熟読してください。
2. 制限時間は必ず守ってください。
3. 原稿・台本は決められた様式で、規格用紙を使用し**4部**提出してください。エントリー番号は、全国大会用なので空欄にしておいてください。なお県大会の番号は当日お知らせいたします。
4. アナウンス・朗読部門では、校名は読みません。エントリー番号の後に、すぐ氏名を言います。
5. 朗読は「書名（作品タイトル）」を読んでください。**指定作品1は選定した短編名を作品名として読みます。**訳者も読みません。朗読のはじめに、番号、氏名、朗読指定作品の著者名、書名を読み、これらも規定時間に含まれます。朗読部門は、作品の抽出箇所の開始ページを記入します。和歌は繰り返しません。細かい注意がありますので、NO、151を参考にしてください。
6. 番組部門では機器の操作は事務局で行いますが、各校の代表生徒一名はバックアップ（MDまたは、VHSテープ）を持参し、決められた場所に着席してください。
7. 番組・創作ドラマ部門の提出作品には、**CDまたはDVDとケースの両方に指定のラベル（タイトル・学校名を記入）を印刷**します。提出用台本は、1ページを表紙とし、2ページに制作意図（200字以内）、ドキュメント部門は第3ページ目から台本を書き、ドラマ部門は第3、4ページはA4 400字詰め原稿用紙（**様式2-3**）であら筋、第5ページから台本を書きます。最終ページには著作権者の許諾を得た上で使用した著作物（使用CD・MD・カセット・レコード・写真・書籍・新聞・美術品・映像など）すべてを必ず記入（**様式2-6**）して、添付してください。著作権処理に関する書類も必ず添付してください。規定用紙はすべてコンテストホームページからダウンロードして使用してください。見本を拡大コピーしないでください。著作権に関しては、各学校で処理してください。BGMやSE等は、極力著作権フリー（コンテスト委員会監修）のものや、自作するのが賢明です。**様式2-6**の一覧表は、著作権フリーのものを使用しても自作したものを使用しても、すべてを記入して添付します。（**様式2-5**）も記入して、必ず添付して下さい。著作物（BGM・SE・その他）を使用しなかった場合も「著作物使用無し」と記入し必ず添付してください。
8. 番組制作に当たっては、番組に登場する出演者・協力して頂いた方々などに放送のための承諾を得ておいてください。
9. 放送コンテスト委員会が監修している「**Arky**」「**EXインダストリー**」の音源CDについては著作権（含・隣接権）処理不要のものです。以前、無料での使用が認められていた「エンドレスエコー」のものについては、著作権処理が必要となります。**Web上で配信されている楽曲等の使用については、禁止とします。**
10. 著作権処理が必要な音源・映像等については各校で事前に処理し、一般の手続きを終えた後そのコピーを台本に一部添付してください。**著作権処理がされていない作品は、オープン参加とさせていただきます。**
11. 全部門を公開とします。演技を行わない生徒も引率していただき、実際の演技に触れさせていただいて今後の指導に役立てていただければ幸いです。
 - 1 2. 生徒は、昼食を持参してください。
 - 1 3. 申込は各部門とも、原稿・作品（CDまたはDVD・台本）にチェックシートと参加申込書を添えて提出してください。別途、メールでの参加申し込みもお願いします。締切り時刻を過ぎて提出されたものは、オープン参加となります。期日は、守ってください。提出後の原稿の差し替えは受け付けません。
- 1 4. 原稿用紙はすべてコンテストホームページからダウンロードして使用してください。
「URL : http://www.nhkk.or.jp/ncon/ncon_h/」です。
すべてが**A4**です。提出する際の仕上がりサイズは、袋とじにして**A5版**になります。
- 1 5. 規定その他わからないこと疑問に思った点は、**下記連絡先（県大会事務局）**へ遠慮無く質問ください。

締切り : ①参加申込書(含メール)、アナウンス・朗読原稿、チェックシート
6月4日(金) 13:00 (午後1時) 時間厳守
②ラジオ・テレビ番組CD・DVD、番組台本、チェックシート
6月7日(月) 15:00 (午後3時) 時間厳守
※但し、6/4〆切りの参加申込書に記載されていない番組作品は受け付けない。

提出先 : 〒403-0017 富士吉田市新西原1-23-1 富士北稜高等学校 放送部顧問 川手 里佳
連絡先 : TEL 0555-22-4161 FAX 0555-30-0173 e-mail rikakawa@kai.ed.jp

※注 意※

外部会場での大会になります。従って、会場の外での発声練習は近所迷惑になりますのでご遠慮ください。発声練習会場は、以下の通り用意してありますので、そちらでお願いします。

- 別館音楽室・・・発声練習会場（開場～）
- 別館多目的ホール・・・アナウンス部門会場（開場～開会行事前まで）
- 本館4F第4会議室・・・顧問控え室（開場～大会開始前まで）